

【情報公開文書】

2023年12月24日作成

Ver.2.0

研究課題名	COVID-19 ブレイクスルーの病態に関連する粘膜免疫の役割の解明
所属（診療科等）	長崎大学病院 呼吸器内科
研究責任者	岩永 直樹
研究機関	本研究は長崎大学病院で実施します
研究期間	2021年10月26日～2024年12月31日
研究目的と意義	<p><研究の目的> 本研究では、SARS-CoV-2 ワクチン接種後に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のブレイクスルー感染を起こす患者さんの免疫学的特徴を明らかにすることを目的としています。</p> <p><研究の意義> この研究によって、COVID-19のブレイクスルー感染を起こしやすい患者さんを診断するために新しい手法の開発や、より効果の高いSARS-CoV-2 ワクチンの創出に繋がる可能性があります。</p>
研究内容	<p>「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者に対する <i>L. lactis</i> strain Plasma（プラズマ乳酸菌）を用いた症状緩和効果についての検証～無作為化二重盲検プラセボ対象並行群間比較試験～ PLATEAU study」に登録されたCOVID-19患者さんを、宿泊療養施設に入所後30日および60日の時点において、長崎大学呼吸器内科外来で、採血と鼻腔粘膜細胞の採取を行います。比較対象の群として、「関節リウマチ患者におけるSARS-CoV-2 ワクチン接種による免疫原性の評価」に参加された健常者の方より採取した検体を使用します。</p> <p>●利用する情報 以下のデータを使用します。 「関節リウマチ患者におけるSARS-CoV-2 ワクチン接種による免疫原性の評価」研究に健常者として登録された方の検体（SARS-CoV-2 ワクチン接種前、接種後（8W, 24W）の保存血球、保存血清）を用います。 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 「関節リウマチ患者におけるSARS-CoV-2 ワクチン接種による免疫原性の評価」研究に健常者として登録された方から採取した細胞と血清をコントロールとして、PLATEAU studyに登録されたCOVID-19患者さんの検体と比較し、SARS-CoV-2 ワクチン接種後のCOVID-19発症に関連す</p>

	<p>る因子について解析を行います。解析と測定は主に長崎大学で行いますが、中和抗体の測定のみ富山大学に検体を送付して行い、個人が特定できない状態の解析結果として発表されます。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：岩永 直樹 長崎大学病院 呼吸器内科 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7273 FAX 095 (819) 7285</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095 (819) 7616 受付時間 : 月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>